

消防航空隊



名古屋市消防局

『安全都市』をめざして

消防航空隊は、複雑多様化する災害にそなえ、2機の中型双発ヘリコプターを効果的に運用し、その特性を発揮して、尊い人命や財産を守るために、今日も活躍を続けております。





市街地を視察調査中の「なごや」



ホイスト吊り上げによる救助活動

航空隊の任務

- 震災・風水時や火災時における被災者の救助及び避難誘導
- 高層ビル火災等における人命救出
- 林野火災時における消火活動
- 空からの警戒・視察及び現場指揮
- 消防隊員、消防機械器具及び資材の空輸
- 救急患者の救護及び搬送
- 救援物資の空輸
- 情報連絡及び広報活動

航空隊のあゆみ

- 昭和48年3月 SA316BアルウェットⅢ型ヘリコプターを導入「なごや」と命名
- 昭和48年4月 名古屋市消防航空隊の設置 基地（ヘリポート）を名古屋空港内におき、航空隊員6名をもって運用開始
- 昭和48年9月 名古屋市、京都市、大阪市及び神戸市で「四都市航空消防相互応援協定」を締結
- 昭和55年12月 名古屋空港内北西部に航空隊庁舎及び格納庫を新設移転
- 昭和56年3月 SA365C 1型ドーファン2双発ヘリコプターを2号機として導入 航空隊員9名に増員
- 昭和56年5月 2号機を「なごや2」と命名し運用開始
- 昭和63年5月 「なごや」の更新機としてSA365N 1型ドーファン2双発ヘリコプターを導入



ロープ降下で救助にむかう隊員



アエロスパシアル式SA330N1型ドーファン2

「なごや」の性能



最大速度	315km/h
巡航速度	260km/h
最大航続距離	884km
最大航続時間	3.4時間
燃料搭載量	1158ℓ
最大出力	727馬力×2
全備重量	4100kg
座席数	14座席
担架数	4基
ホイスト能力	272kg
吊り下げ能力	1600kg

製造 フランス・アエロスパシアル社
納入 ㈱野崎産業



アエロスパシアル式SA365C1型ドーファン2

「なごや2」の性能



最大速度	315km/h
巡航速度	220km/h
最大航続距離	440km
最大航続時間	2時間
燃料搭載量	640ℓ
最大出力	630馬力×2
全備重量	3400kg
座席数	14座席
担架数	4基
ホイスト能力	275kg
吊り下げ能力	1300kg

製造 フランス・アエロスパシアル社
納入 ㈱野崎産業



名古屋市消防航空隊 愛知県西春日井郡豊山町豊場 名古屋空港内

TEL (0568) 28-0119

発行年月 昭和63年10月